

まえがき

子安 潤 2

**第 I 部 中等教育の改革と授業実践の課題****1 中等教育改革と教育方法学の課題**

—資質・能力と学力の対比から—

松下佳代 10

- 1 問題と目的 10
- 2 資質・能力の概念とそのモデル 11
- 3 授業における資質・能力の育成—対話型論証に焦点をあてて— 15
- 4 教科外の活動での資質・能力の形成  
—「大きな学力」としての資質・能力— 19
- 5 結び—教育方法学の課題— 21

**2 探究を重視した理科授業を具体化するために**

岩間 徹・大野栄三 23

- 1 2018年改訂の高等学校学習指導要領と探究する学習 23
- 2 探究実験の方向性を示す *Advancing Physics* 25
- 3 内容検討から公開講座, 通常授業での活用へ 28
- 4 *Advancing Physics* のその他の内容 30
- 5 *Advancing Physics* 教材から得られたこと 32
- 6 おわりに 33

**3 主権者の育成と中等教育実践の課題**

—社会科・公民科の授業づくりを事例にして—

藤瀬泰司 36

- 1 はじめに—副教材を使った主権者教育の意義と課題— 36
- 2 中等公民学習の授業改革の方向性—租税・財政学習の場合— 38

- 
- 3 主権者を育てる中等公民学習の授業開発  
— 単元「国債問題について考える」— 40
  - 4 おわりに—主権者として議論するために必要な知識・技能の習得— 47

#### 4 探究学習における教育評価のあり方 二宮衆一 50

---

- 1 求められる探究学習 50
- 2 「探究」「探究的」な学習に関わる評価の試み 52
- 3 「探究」「探究的」な学習活動の評価の課題 58
- 4 「探究学習の評価」から「探究学習のための評価」へ 60
- 5 「クライテリア・コンプライアンス」という問題 63

## 第Ⅱ部 子どもの多様性と中等教育実践の課題

### 1 子どもが「運命を背負う」過程に教師が「伴走」する — 初等教育の「延長」ではない、中等教育実践の独自の課題— 白石陽一 68

---

- 1 はじめに 68
- 2 性遍歴を介して自分の「人生を選ぶ」ということ 69
- 3 複雑な現実を複雑なままに見る 73
- 4 進路指導における人生の選択 78

### 2 多様な文化的背景の子どもたちと中等教育実践の課題 金井香里 82

---

- 1 はじめに 82
  - 2 中等教育段階のニューカマーの子どもたちの実態 84
  - 3 学業達成（学業継続）と進路形成をめぐる子どもたちの困難 88
  - 4 中等教育段階の子どもたちに対する教育実践をめぐる課題 90
-

---

## 第Ⅲ部 教育方法学の研究動向

### 1 教育方法学における歴史研究の動向 富士原紀絵 138

---

- 1 歴史学の動向と教育方法学の歴史研究 138
- 2 新史料による実証研究の進展と史料の産出 140
- 3 日本の戦前の新教育の評価をめぐって 141
- 4 戦前・戦後の連続性と生活綴方の評価 144
- 5 教育方法学における歴史研究の意義 147

### 2 戦後教育実践に関する研究動向 川地亜弥子 150

---

- 1 はじめに 150
  - 2 通史的研究 151
  - 3 民間教育研究団体における教育実践—教育・保育と子どもの生活— 152
  - 4 教科教育を中心とした研究 154
  - 5 障害児教育・特別支援教育 157
  - 6 おわりに 158
-

---

### 3 教育評価のエビデンスとしての実践記録

—近代自然科学的証拠と体験反省的明証性の間で—

遠藤貴広 96

- 1 日本の教育実践研究におけるエビデンスをめぐる諸相 96
- 2 実践記録を土台にした教育実践研究の展開 98
- 3 エビデンス概念の再定義 101
- 4 実践記録の科学性をめぐって 104
- 5 研究方法論の背後にある科学の認識論 106

### 4 特別支援教育の実践研究とエビデンス論

湯浅恭正 110

- 1 はじめに 110
- 2 特別支援教育でエビデンスが問われる背景 110
- 3 特別支援教育の実践研究・実証的研究をめぐって 112
- 4 エビデンスを意識した特別支援教育の実践研究に問われるテーマ群 113
- 5 実践の協働とエビデンス  
—「エビデンスに基づく教育」から「実践に基づくエビデンス」へ— 118

### 5 教育方法学は教育実践をどのように語るのか

—詩的・物語様態の定性的データに基づく省察と叙述の可能性— 庄井良信 123

- 1 問題設定 123
  - 2 省察的実践の淵源と詩の言葉 125
  - 3 詩的多声楽による物語の紡ぎ合い 127
  - 4 結論 132
-